

2022 年度さいたま市テニス協会定期総会報告

日時：2022 年 4 月 17 日(日) 18:00-19:10

場所：与野本町コミュニティセンター多目的ルーム大

資料：①「2022 年度総会資料」（受付で配布¹およびプロジェクター投射）

②「220417_さいたま市テニス協会総会（会計報告）」（プロジェクター投射のみ）

議事：

1. 出席者数 53 名、委任状 120 名、計 173 名。282 団体の過半数参加により総会は成立
2. 会長挨拶 関

3. 総会資料の説明と決議事項の承認

・一般業務報告 小林
2022 年度登録団体について、資料①訂正（ジュニア No. 8 は、ノビステニスチームが正）

・決議事項（1）2021 年度事業報告 小林

・決議事項（2）2021 年度会計報告 内村

資料②により概要を説明したのち、資料①の内容を説明

・決議事項（3）会計監査報告 今村

上記（1）～（3）：質疑応答なく承認

・決議事項（4）2022 年度事業計画 小林

運営事務の効率化とともに正確性向上のために DX 化を推進したい

・決議事項（5）2022 年度予算 内村

上記（4）～（5）：下記質疑応答ののち承認

泉澤(KENKEN TC)：荒川の 1-8 はコンディションが悪く整備を依頼してほしい。競技部事業計画の「荒川の使用を縮小」は進めてほしいが、具体的には？

→高橋(競技部長)：移行先の西遊馬も自由に使える状況下ではなく、荒川の 13-16 をやめる(使用を 1-12 のみとする)代わりに西遊馬に移行していく形で依頼している。

泉澤(KENKEN TC)：なぜ 600 万円もの剰余金があるのか？

→内村(本部会計)：協会のキャッシュフロー(春季大会の資金繰り、システム関係や普及部の教室エントリーの費用など不足の事態に備える)の点から、500 万円程度の繰越金は妥当と考える

飯田(TBJ)：西遊馬の拡充はハードコートの使用増となるが、ハードを避けたい人もいる

→高橋(競技部長)：アンケート結果では一般の方は西遊馬を OK としている。すべての人の希望は満たせないが検討する。

飯田(TBJ)：初戦で敗れると 1 試合で終わってしまうという理由で大会を敬遠する人がいるため、敗者復活戦など初戦で敗れても楽しめる試合運営を希望する。

→高橋(競技部長)：団体戦では、敗者も試合ができるよう運営している。参加者数との兼ね合いになるが検討する。

・決議事項（6）新任役員 小林
質疑応答なく承認

・さいたま市テニス協会 20 周年記念行事準備状況報告 小林

・さいたま市体育賞、功労賞の受賞者の紹介と表彰 小林

さいたま市功労賞：猪塚 育代氏

さいたま市優秀選手賞：園部 八奏氏、梅國 莉音子氏(賞状と副賞は御家族が代理で受領)

4. その他

琴野：「1 試合で終わらない運営を」という希望は、テニスの日ならばかなえられるし、参考例として、(アンケート結果にもあるように)エントリー枠を決めてしまえば敗者復活戦などやれる可能性もある。他協会の実例もあるが、その場合、サークル長が出場選手を決定するなど弊害も。

清水：アンケートの意見は、単なる紹介であり、決まったことではない。

今後の予定

総会欠席団体に資料を送る(担当：事務局)

以上

¹ 欠席者に後日送付するとともに、最終版を協会ホームページに掲載する